

都賀地域会議では、「総合支所複合化検討部会」を設置し、「都賀総合支所複合化整備事業」の検討を行ってきました。

今号では、この事業について特集でお知らせします。

総合支所と公民館の建て替えについて（第4回）

今回は、現在進めている「(仮称) 都賀総合支所複合施設整備基本設計・実施設計」において、新たな施設の完成時期や建物の詳細が明らかになってきましたので、その内容についてお知らせします。

【目次】

- 1 開庁時期について
- 2 施設内部の部屋構成について
- 3 建物のイメージ図について
- 4 事業費について

1 開庁時期について

新たな施設の開庁時期は、令和6年(2024年)7月を予定します。
計画当初は、令和5年7月の開庁を目指していましたが、1年遅れとなります。
これは、次の2点が理由になります。

- ①設計を進めていく中で、建設計画地にある都賀保健センター、都賀文化会館の解体工事に想定よりも長い期間を必要とすることが判明し、新たな施設の新築工事の開始時期が遅れてしまうため。
- ②令和元年10月の大雨災害の影響などから、市全体の事業を見直し、複数の大型建設事業を同時期に実施し、財政負担が一時的に大きくなり過ぎないようにスケジュールの調整をする必要が生じたため。

災害の影響などやむを得ない事情ですので、ご理解くださいますようお願いいたします。

※これは現時点での予定であり、今後変更の可能性もあります。



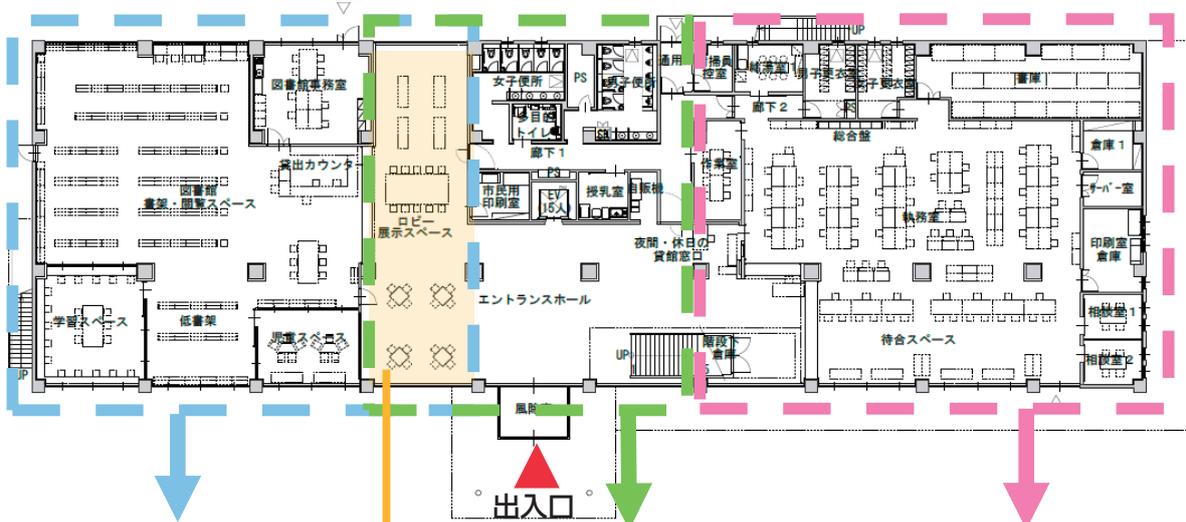
2 施設内部の部屋構成について

1階 (約1,300㎡)

図書館 (約350㎡)

共用部 (約450㎡)

総合支所 (約500㎡)



図書館 (出入口から左)

貸出カウンター
書架・閲覧スペース
児童スペース
学習スペース
事務室

目的、年齢を問わずに利用しやすい図書館となるよう館内は書架だけでなく、スペースを区分。

共用部 (出入口正面から左)

出入口・エントランスホール
ロビー・展示スペース
授乳室
トイレ
夜間・休日貸館窓口

小さなお子さんと一緒に安心して滞在できるよう独立型の授乳室を完備。

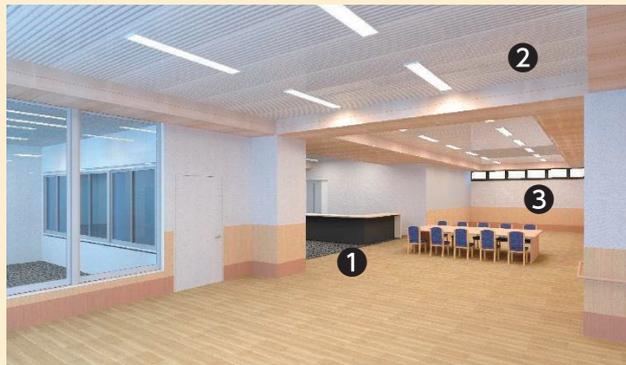
総合支所 (出入口から右)

執務室
待合スペース
窓口カウンター
相談室
書庫・倉庫

窓口は座って利用できる低いカウンターに。
(イメージはP4に掲載)

ロビー・展示スペースから図書館にかけてのイメージ図

①公民館ロビーと図書館の間に扉をあえて設けず、一体的に利用でき誰もが立ち寄りやすい場所としました。



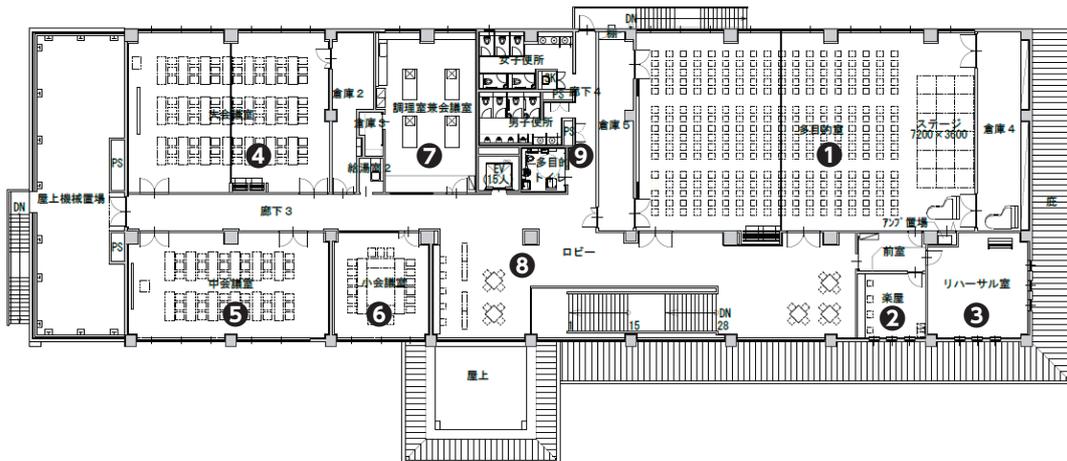
②天井を高くし、学習や読書などで滞在したくなるような空間に。

③ロビー奥の壁面には、作品展示ができるよう照明や展示レールを設置。

※机・椅子などは固定されていません。(図面の書き込みは配置イメージです。)
※現時点でのイメージ図であり、今後変更の可能性もあります。

2階 (約1,150㎡)

公民館・共用部 (約1,150㎡)



公民館の各室と設備など

①多目的室 (倉庫含む約360㎡ 椅子のみ最大収容約300人)

- ・講演会、発表会、集団検診、災害時の避難所のほか、日常的には現在の都賀公民館の講堂と同様の利用を想定しています。移動間仕切りで区切れば半分での利用も可能です。
- ・主な設備は、音響、防音仕様、調光機能付き照明、折り畳み収納式ステージ、移動間仕切り、大型鏡(壁面固定)、机、椅子(運搬台車有り)を計画しています。

②楽屋 (約20㎡)

- ・講演会、発表会などの着替えや準備のスペースとなる想定です。
- ・主な設備は、化粧台カウンターを計画しています。

③リハーサル室 (約46㎡)

- ・発表会のリハーサルスペースのほか、日常的には合唱などの練習場所を想定した防音仕様の部屋です。

④大会議室 (約138㎡ 机・椅子で最大収容約63人)

- ・団体の総会、大規模な会議での利用を想定しています。移動間仕切りで区切れば半分での利用も可能です。
- ・主な設備は、移動間仕切り、机、椅子、スクリーンを計画しています。

⑤中会議室 (約92㎡ 机・椅子で最大収容約36人)

- ・中規模の研修会や公民館講座での利用を想定しています。
- ・主な設備は、机、椅子、展示レールを計画しています。

⑥小会議室 (約45㎡ 机・椅子で最大収容約18人)

- ・小規模な会議のほか、夏休み期間など図書館内の学習スペースが混雑した場合には、学習スペースとして開放することも想定しています。
- ・主な設備は、机、椅子です。

⑦調理室兼会議室 (約66㎡ 調理台4台)

- ・料理教室、イベントでの利用を想定しています。調理台は移動式とし、小規模な会議室へのレイアウト変更も可能とする計画です。

⑧ロビー

- ・机、椅子を配置し、各種団体の相談や打合せに利用できます。

⑨トイレ

3 建物のイメージ図について

周辺の景観に調和した外観とすることを前提に、建物形状は、建設時の費用を抑える観点から、凹凸の少ないもの（総2階に近い形状）とし、屋根形状は、後々のメンテナンス費用を抑えることができるよう勾配屋根を採用しました。

建物内部は、南側からの光を活かせるよう大きな窓を設け、全体的に明るい空間としたほか、設備面では公共施設にふさわしいユニバーサルデザインを導入し、誰もが使いやすい施設としています。

《外観イメージ図（正面）》



《内観イメージ図（総合支所窓口スペース）》



総合支所の窓口は、現在の古い総合支所の窓口の課題や他の庁舎の状況を検証し、次の3点を重視することで、利用しやすい窓口としました。

- ①カウンターは1か所に集約
- ②座って利用できる
- ③待合スペースが広い

※内装・外装の色などは現時点でのイメージ図であり、今後変更の可能性もあります。

4 事業費について

新築、外構、既存施設の解体などの工事費と設計費で、約20億7千万円を想定しています。なお、新築工事の開始までは少し期間がありますので、人件費や物価の動向次第で事業費が増減することもあります。また、このほかに、机や椅子などの備品購入費や引越し費用等が必要になります。